日本観光研究学会・関西支部ニューズレター

観光学

第7号 2018年度
（2019年3月発行）
JITR-Kansai
Japan Institute of Tourism Research
No. 7

写真：日本に３つしかない辰野金吾の和風建築の１つ。河内長野市の南天苑（撮影：小長谷）

★日本観光研究学会・関西支部（ＪＩＴＲ－Kansai）ホームページ→【 http://www.kankoryoku.jp/ 】
ニューズレター『観光学』第７号　２０１８年度（２０１９年３月発行）

１．２０１８（平成３０）年度関西支部活動をふりかえって（支部長　国枝よしみ）

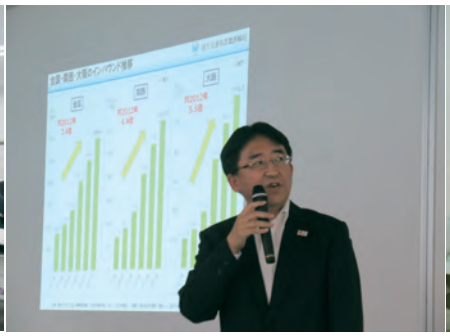
2018 年度は「観光振興における民泊の役割を多面的に考える」でスタートしました。現地研修会は鳥取・倉吉・由良地域の観光振興を学び、地区懇話会では、河内長野市長はじめ、地域の皆様等と意見交換ができました。一方、観光学研究部会、観光サロンでは、ご活躍中の講師の方に示唆に富むご講義をいただきました。これも会員の皆さま、各地域の皆さまのご支援の賜物です。来年度も皆様のご参加をお待ちしています。

２．２０１８（平成３０）年度関西支部活動をふりかえって（副支部長　小長谷一之）

これまでは住宅都市や工業都市だったまちが今、観光振興に乗り出すことが増えてきました。観光はよく頭打ちの定住人口に代わり交流人口数を高めると言いますが、観光振興は地域イメージを良くし最終的には定住人口への正の効果もあると思います。昨年地区懇話会を開催した池田市は朝ドラもあり観光都市への道を歩みだしています。今年の河内長野も観光が活発になれば地区懇話会が行く都市が軒並み活性化する実績でしょうか。

３．支部活動１『関西支部総会』＋『第１５回　意見交換会：関西から観光立国・立圏を考える』「観光振興における民泊の役割を多面的に考える」

【日時】２０１８年５月１９日（土）総会 11:00～11:30、意見交換会 13:00～16:45。【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス。【総会議案】2017 年度活動報告および収支決算、2018 年度活動計画および収支予算の承認。【テーマ】「観光振興における民泊の役割を多面的に考える」。【プログラム】（１）支部長開会挨拶（13：00～13：05）国枝よしみ。（２）特別講演（13：05～13：35）『関西における観光政策の現状』国土交通省近畿運輸局観光部長 宮田亮氏。（３）基調講演（13:40～14：10）:『Airbnb Japan の事業戦略』Airbnb Japan（株）執行役員統括本部長 長田英知氏。（４）パネルディスカッション（14:20～16:45）『観光振興における民泊の役割を多面的に考える』●パネリスト：Airbnb Japan（株）執行役員ホームシェアリング事業統括本部統括本部長 長田英知氏、京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光学科長・教授 ジェフ・バーグランド氏、（株）ヴァリューズ代表取締役社長 辻本秀幸氏、和歌山大学食農総合研究所教授 岸上光克氏。●コーディネーター：日本観光研究学会関西支部長・大阪成蹊大学副学長マネジメント学部国際観光ビジネス学科長 国枝よしみ。（５）意見交換（16：45～17：00）情報提供。（６）交流会（17：30～19：00）。総参加者７３名でした。



４．支部活動２『地区懇話会』「河内長野を「観光まちづくり」で魅力アップ」（主催：日本観光研究学会関西支部主催、協力・後援：河内長野市）

【日時】２０１９年２月２３日（土）9:30 集合～まちあるき、14:00～基調講演・シンポジウム【会場】河内長野駅前市民センター（ノバティながの）南館３階多目的ホール（河内長野市長野町 5-1-303）【テーマ】「河内長野を「観光まちづくり」で魅力アップ」【概要】日本観光研究学会関西支部は、毎年度、地方自治体と連携し、地域の観光について語り合う地区懇話会を開催しています。2018 年度は、自然や歴史などの観光資源を背景に、近年、道の駅・奥河内くろまろの郷の開業や、国宝指定などが相次ぎ、日本遺産登録の申請や、大河ドラマの誘致活動も行われている河内長野市の協力のもとに開催することになりました。【プログラム】（１）9:30：南海河内長野駅前の河内長野市観光案内所前に集合。（２）9:30～13:45 頃：河内長野市様ほかのガイドによりエクスカーション①高野街道→②天野酒（西條合資会社）→③観心寺（国宝所蔵）→④道の駅・奥河内くろまろの郷（昼食、買い物、自由に見学（花の文化園、木根館、ふるさと歴史学習館））→⑤南天苑（歴史的な和風建築の温泉宿）→会場へ。２０名の参加でした。（３）午後からは、会場にて講演会とシンポジウム（４）14:00～14:05：国枝支部長挨拶。（５）14:05～14:40：島田智明市長基調講演。（６）14:40～16:45：シンポジウム「河内長野を「観光まちづくり」で魅力アップ」●パネリスト：檜尾山 観心寺住職 永島全教氏、あまみ温泉南天苑 女将 山﨑友起子氏、atelier NOAHNOOR 代表 天川麻子氏、河内長野市環境経済部長 太口智裕氏。●コーディネーター：大阪市立大学大学院都市経営研究科研究科長・教授 小長谷一之。●司会：関西支部幹事 原田弘之。７０名の参加でした。（６）17:00～19:00：三佳屋（高野街道沿いの古民家活用のレストラン）で懇親会がおこなわれ交流が深められました。２２名の参加でした。＝＞★最終ページにも写真

５．支部活動３「観光学研究部会」

（１）第１回観光学研究部会

【日時】２０１８年１０月２３日（火）19：00～【会場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）【テーマ】「アラスカ地域社会継続可能のためのツーリズム」【講師】松浦宏之（まつうら・ひろゆき）氏（太成学院大学経営学部准教授）

（２）第２回観光学研究部会

【日時】２０１８年１１月２７日（火）19：00～【会場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）【テーマ】「スノースポーツとモータースポーツに見るスポーツ・ツーリズム」【講師】遠藤竜馬（えんどう・たつま）氏（神戸国際大学経済学部国際文化ビジネス・観光学科教授）

６．支部活動４「観光サロン」

（１）第１回観光サロン

【日時】２０１８年９月２５日（火）19：00～【会場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）【テーマ】「コンテンツツーリズムと地域活性化－フィルムコミッションとは」【講師】田中まこ氏（特定非営利活動法人　ジャパン・フィルムコミッション理事長、神戸フィルムオフィス顧問）

７．支部活動５『中四国現地研修会・フォーラム』（山陰、砂像・白壁土蔵群～コンテンツツーリズムの魅力！）

【会場】鳥取・倉吉・由良【日時】２０１８年９月１１日～１２日。【概要】日本観光研究学会関西支部では、中四国研修会を、2014 年度は太平洋側の高知（黒潮町の砂浜美術館）、2016 年度は瀬戸内・四国側の愛媛県（三津浜地区・道後温泉・松山市での政策ヒアリングと見学等）、2017 年度は瀬戸内・中国側の広島県（尾道市の町家再生、千光寺山からの坂のまち、しまなみ海道等）とおこなっており、2018 年度は日本海側の鳥取・倉吉・由良エリアで開催することとなりました。大阪からアクセス（２時間半）の良い鳥取を拠点に、砂像美術などの砂の自然とアート、歴史的町並み、コンテンツツーリズムなどを見学し、併せて、行政関係のみなさまと観光政策の意見交換をしました。【２０１８年９月１１日（火）】（１）12：50、ＪＲ鳥取駅前バス ０ 番乗り場集

合し砂の美術館へ。（２）13:30～15:20 ごろまで「砂の美術館、鳥取砂丘、展望台等」自由見学。（３）県庁へ。16:00～17:00、県庁にて「観光局長様等行政担当者様と意見交換」。（４）18:30～20:30、JR 鳥取駅近くの「海鮮問屋　村上水産 鮮魚部」にて懇親会。**【２０１８年９月１２日（水)】**（１）JR 鳥取駅発 8:51＝＞倉吉駅着 9:56＝＞（バス移動）倉吉駅発 10:00＝＞白壁土蔵群着 10:12。（２）10:20～12：45 ごろまで、「白壁土蔵群」見学、昼食。（３）途中、フィギュアの博物館「円形劇場」を見学。（４）（バス移動）白壁土蔵群発 12:53＝＞倉吉駅着 13:05、ＪＲ倉吉駅発 13:10 を予定＝＞由良駅着 13:18。（５）由良にて、「名探偵コナンの聖地」見学。

８．支部活動６　関西支部幹事会開催記録（２０１８年度）

第１回　２０１８年４月２４日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第２回　２０１８年５月２２日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第３回　２０１８年６月２６日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第４回　２０１８年７月２４日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第５回　２０１８年９月２５日（火）18：00～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第６回　２０１８年１０月３０日（火）18：00～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第７回　２０１８年１１月２７日（火）18：00～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第８回　２０１８年１２月２５日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第９回　２０１９年１月２２日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第１０回　２０１９年２月２６日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第１１回　２０１９年３月２６日（火）18：30～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）

９．支部活動７　ＮＰＯ法人「観光力推進ネットワーク・関西」の応援と協働

（１）ＮＰＯ法人「観光力推進ネットワーク・関西」今年を振り返って（理事長挨拶）森山正

2018 年度は新規事業や既存事業の改善を推進しました。外国政府観光庁との共同研究の開設やタスクフォースによる「観光マネジメント講座」のコンテンツなどの見直しです。また、恒例の「学生研究発表会」は 18 組が参加し過去最多で盛況でした。城崎温泉インターンシップを含め、今後もさらに積極的な事業活動を推進致します。

（２）ＮＰＯ法人「観光力推進ネットワーク・関西」今年を振り返って（副理事長挨拶）国枝よしみ

「地域創造のための観光マネジメント講座」では、例年以上の受講生をお迎えできたことを大変嬉しく思います。また、学生協議会の皆さんも過去最高の数の研究発表を行っていただき、観光への関心が高まっていることを感じています。来年度もさらに活動をＰＲしていきたいと考えています。

（３）ＮＰＯ法人「観光力推進ネットワーク・関西」今年を振り返って（副理事長挨拶）福本賢太

史上最多が２件、大変実りある一年となりました。「第 13 回地域創造のための観光マネジメント講座」受講者数（１３名）、「第５回学生研究発表会」発表数（１８チーム）、いずれも本法人史上最多を記録しました。今後も引き続き、本事業の量的維持・質的改善へ努めつつ、他事業の進展へ尽力いたします。

（４）第１３回「地域創造のための観光マネジメント講座」の開催

【日時】（１月～２月の土曜４日間）２０１９年１月１２日、１月２６日、２月２日、２月９日の４日間。【会場】梅田・大阪駅前第２ビル６階大阪市立大学文化交流センター、（最終日のみ）梅田・イオンコンパス大阪駅前会議室および市内フィールドワーク。【プログラム】●第１日目１月１２日（土）【ステップ１：地域創造型観光の基盤：地域資源の再発見と再評価の方法】（第１回 10：00～11：10）「「地」の観光としてのエコミュージアム」京都外国語大学特任教授　吉兼秀夫、（第２回 11：10～12：20）「見えない宝を探し、創り出すコンテンツツーリズム」京都外国語大学教授　原一樹、（第３回 13：20～14：30）「宝探しとエコツーリズム」北海道大学客員教授　真板昭夫、（第４回 14：30～15：40）「ヘルスツーリズムと地域創造」流通科学大学教授　辻本千春、（第５回 15：50～17：00）「観光マーケティングの枠組み」大阪成蹊大学教授　国枝よしみ。**●第２日目１月２６日（土）【ステップ２：地域創造型観光の計画：地域資源の観光への活用方法】**（第６回 10：00～11：10）「地域創造を支える観光人材の育成」阪南大学教授　福本賢太、（第７回 11：10～12：20）「顧客と地域人材のマーケティング」神戸山手大学客員教授　森山正、（第８回 13：20～14：30）「観光マネジメントとまちづくりの計画」（株）地域計画建築研究所（アルパック）主幹　小阪昌裕、（第９回 14：30～15：40）「地域における観光商品づくりと観光事業への活用」阪南大学教授　清水苗穂子、（第１０回 15：50～17：00）「プロモーションとイベントの活用方法」神戸国際大学教授　桑田政美。**●第３日目２月２日（土）【ステップ３：地域創造型観光の運営：事業継続の方法】**（第１１回 10：00～11：10）（第１１回 10：00～11：10）「多様な主体の総合力による観光地域づくり」（株）地域計画建築研究所（アルパック）チーム長　高田剛司、（第１２回 11：10～12：20）「基本となるサービスとホスピタリティの考え方」摂南大学准教授　野村佳子、（第１３回 13：20～14：30）「事業推進のための制度の活用と資金の調達」立命館大学客員教授　金井萬造、（第１４回 14：30～15：40）「地域創造型観光のマネジメント－成功事例からみる７つの原則」大阪市立大学大学院教授　小長谷一之。**●第４日目２月９日（土）【プレゼンテーションと市内フィールドワーク】**（第１５回 13：00～17：00）「市内フィールドワーク」（株）インプリージョン　森なおみ。

（５）学生連絡協議会（学連協）の応援【学生等からの報告】

１）学生連絡協議会総会【実施日】２０１８年５月１９日（土）10:00～【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス【参加】京都外国語大学、阪南大学、摂南大学、神戸国際大学、流通科学大学。【概要】2017 年度活動報告、2018 年度新役員自己紹介、2018 年度活動計画等を行いました。

２）観光カネット・学連協「城崎温泉旅館体験プログラム＋アートワークショップ」（城崎、2018 年 6 月 2 日～3 日）（城崎温泉関係人口構築委員会共催）（１）2018 年 6 月 2 日（土）から 3 日（日）にかけて、学生連絡協議会（学連協）所属の学生４大学から 27 名が参加して「城崎温泉旅館体験プログラム」を実施。駅が玄関・道路が廊下・旅館がお部屋・外湯が大浴場と町全体を一つの旅館に例える城崎温泉の旅館に分宿して、温泉街を浴衣に下駄で外湯巡りや旅館での食事を体験。（２）２日目は劇作家の平田オリザ先生による「観光とアートの親和性」をテーマにした講演とワークショップが行われた。講演では、世界のアートで観光集客に成功した事例を紹介、観光の持つコミュニケーションの可能性などをお話しいただき、ワークショップでは演劇的な手法を用いて、コミュニケーションの本質に迫る観光にも役立つ内容でした。学生も講演では観光とアートの融合の重要性を学び、ワークショップでは表現のむつかしさやそれをホスピタリティに取り入れる方法を学んだ。

３）観光カネット・学連協「インターンシップ in 城崎」（若旦那・若女将密着体験プロジェクト）【実施日】2018 年 8 月 23 日（木）～29 日（水）。【概要】城崎温泉旅館の皆様のご指導のもと、城崎温泉の各旅館にてのインターンシップを行い、各旅館での体験と地域活性化提案を発表しました。【参加】京都外国語大学、大阪観光大学、阪南大学、摂南大学、神戸国際大学、流通科学大学。（学連協担当：辻本）

４）就活セミナー【実施日】2018 年 11 月 10 日、17 日、24 日（全て土曜）。【会場】梅田・大阪駅前第２ビル６階大阪市立大学文化交流センター。【概要】ＮＰＯ観光力ネットが主催する「就活サポート講座」が開講。講師は経験豊富な企業人事の元責任者で、講座のポイントは、「企業の採用戦略」「自己の強み発見と活用の方法」「勝てるエントリーシート（ＥＳ）の書き方」等。【参加】京都外国語大学、大阪観光大学、流通科学大学。

５）学生研究発表会【実施日】2018 年 2 月 13 日（水）。【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス。【概要】学生発表会は観光力推進ネットワーク関西学生連絡協議会に所属する学生が１年間研究した成果を発表しあう発表会です。今年は最多の合計 7 大学 18 チームが出場しました。【参加】京都外国語大学、大阪成蹊大学、大阪観光大学、阪南大学、摂南大学、神戸国際大学、流通科学大学。 ***＝＞★最終ページにも写真***

６）共同研究をバンコクで実施。摂南大学と京都外国語大学の学生による、タイ国政府観光庁（TAT）との共同研究を実施。TAT からの情報提供や現地調査（2018 年 9 月）を踏まえ、学生研究発表会にて４チームが発表。

＜支部新年度予定：２０１９年度「関西支部総会・意見交換会、学生連絡協議会」は５月１１日(土)にあべのハルカスで＞

９．支部活動７　ＮＰＯ応援　（５）学生連絡協議会（学連協）の応援　５）学生研究発表会２０１９年２月１３日

４．支部活動２『地区懇話会』「河内長野を「観光まちづくり」で魅力アップ」２０１９年２月２３日

７．支部活動５『中四国現地研修会』２０１８年９月１１～１２日「山陰、砂像・白壁土蔵群・コンテンツツーリズム！」

日本観光研究学会 関西支部(JITR-Kansai) ニューズレター『観光学』第７号（２０１８年度）発行：2019 年 3 月 10 日。
発行人：国枝よしみ。編集人：小長谷一之。事務局：大阪成蹊大学マネジメント学部国際観光ビジネス学科 松田充史研究室　533-0007 大阪市東淀川区相川 3 丁目 10-62　gakkai@kankoryoku.jp